

第4章 まちづくりの基本的な目標（重点目標）

目指す将来像の実現に向け、まちづくりにおいて基本的・重点的に取り組むべき方向性として、以下の3つを掲げます。

1 充実した教育が実感でき、子どもを安心して産み育てられるまち

将来人口推計から見た本市の急激な少子高齢化を考えると、将来にわたって活力を維持し持続可能なまちとなるためには、子育て世代を中心とする生産年齢人口の維持・定着による人口構成バランスの保持が必要となります。

これまでは、商業のにぎわいや交通の利便性等の強みを背景に、本市に子育て世代が多く転入してきましたが、他市の沿線各駅の駅前開発等や郊外型の大型店舗の出店等により、それらの強みは弱まりつつあります。

そのため、子どもにとっても親にとっても、より魅力あるまちを目指すため、教育環境・子育て環境・生活環境等の充実を図ります。

(1) 健やかな成長を支える教育環境づくり

柏で生まれ育つ子どもたちが、心身ともに健康で、社会性を持ち、自ら考え、学び、生きていくことができる基礎を身に付けられるよう、学校、家庭、地域で行われている様々な教育・学習活動の充実・活性化に向けた環境整備を積極的に推進します。

特に、充実した教育が実感できるよう、子ども一人ひとりが学ぶ意欲と学ぶ習慣を身につけられる教育の推進や、そのための体制・環境の整備に取り組めます。

(2) 子どもの育ちと子育てを支援するまちづくり

経済状況や雇用環境、就労意識の変化等により、子育て世帯のライフスタイルやワークスタイルは多様化しており、これに対応した保育環境は、都市機能として必要不可欠なものであることから、積極的に充実を図ります。

一方、地縁の希薄化や核家族化の進展に伴い、就労の有無に関わらず子育てに対する不安や負担、孤立感が高まっていることから、身近な地域における子育て支援の取組を充実させます。また、親育ちの視点から、親同士が子育てを通じて支え合い、学び合うような関係づくりを推進します。このような地域全体で子どもの育ちや子育てを支える意識の醸成や場の創出等により、子どもたちが生まれ育ったまちに愛着や誇りを持てるようにします。

(3) 親子が安心、楽しめるまちづくり

柏駅前や柏の葉地域のにぎわい、手賀沼等の豊かな自然、柏レイソルや市立柏高等学校吹奏楽部をはじめとするスポーツ・文化資源等の柏市の魅力を活かし、親子が楽しめる潤い

ある生活環境をつくります。

また、子どもが巻き込まれる犯罪や事故等を防止するための協力体制の整備や子どもの居場所づくり、小児救急医療等の充実等、安心して子どもを育てられる環境づくりを地域全体で進め、子どもの育ちを支えます。

2 健康寿命²⁰を延ばし、いつまでもいきいきと暮らせるまち

各種の取組により、長年働き社会経済を支えてきた方々が元気にセカンドライフを楽しむと同時に、社会活動の一端を担うことで生きがいと充実感が得られる環境をつくります。

(1) 健康寿命を延ばすまちづくり

75歳になると要介護者の割合が増加することが、国等の調査によりわかっています。若い世代からの生涯を通じた積極的な健康づくりは、医療技術の進歩に伴い平均寿命が延伸する中、介護の不安等に応えるだけでなく、本人の生活の質の維持及び社会保障費の抑制の両面から、高齢化社会を支える取組として必要です。

また、本市は「長寿社会のまちづくり」をテーマに、医療・看護・介護サービスの連携、社会参加、生活空間等に関し、東京大学や都市再生機構²¹と協力して急激な高齢化への対応に取り組んでおり、いつまでも安心した生活が送れるよう、このような取組を広げていきます。

(2) いきいきと暮らせるまちづくり

現在の高齢者、特に65歳から74歳までを見ると、以前の同年代に比べ、活動的に過ごしている人がたくさんいます。年齢で一律に「支えが必要な層」とみなすのではなく、元気な高齢者は「社会の支え手・担い手」という考え方への転換が必要です。また、社会活動への参加は、高齢者の孤立の解消等も期待できます。

体力面、精神面ともに若々しい今の高齢者が、豊富な経験や高い技量を活かして地域の支え手となり、健康で意欲的に活躍することは、地域の活力につながります。高齢者が、住み慣れた地域で、その人らしく生きがいと誇りを持って生活できるよう、就労、ボランティア活動や交流等多様な社会参加の場を創出するとともに、参加促進の仕組みづくりに取り組みます。

また、道路や交通等の環境整備により移動を円滑化し、活動しやすい都市空間づくりにより、高齢者の活動を側面からサポートします。

20 【健康寿命】 健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のこと

21 【都市再生機構】 大都市や地方中心都市における市街地の整備改善や賃貸住宅の供給支援、UR賃貸住宅（旧公団住宅）の管理を主な目的とした、国土交通省所管の中期目標管理法人である独立行政法人のこと

3 地域の魅力や特性を活かし、人が集う活力あふれるまち

子どもから高齢者に至るまで、多世代がにぎわいを楽しめる魅力あるまちづくりを進め、常磐線や東武アーバンパークライン、つくばエクスプレス沿線における存在感を強く示し、地域を牽引する都市を目指します。

(1) 多様な地域資源を活かしたまちづくり

柏駅周辺は活力の象徴であり、本市の顔としてイメージ形成に大きく貢献してきましたが、近年では、郊外型の大型店舗の進出等により、商業面の相対的な競争力が低下しつつあります。そのため、にぎわいにつながる機能整備や空間づくりに取り組み、柏の顔としての魅力を保ち、市内外の人々が集まり、飲食や買い物、レジャー等を楽しめるまちづくりを推進します。

柏の葉キャンパス駅周辺地区を中心に進めている「公民学連携による自律した都市経営」をテーマにしたまちづくりでは、国の環境未来都市及び地域活性化総合特区を活用し、環境や健康等に配慮したスマートシティ²²等、「世界の未来像」を具現化するための先駆的な取組が進められています。また、つくばエクスプレスや常磐自動車道柏インターチェンジ等都心へのアクセスが良好で、住環境の整備に伴う人口増加や企業進出も見込まれるエリアでもあり、新しい街並み・都市空間を形成できる強みを活かし、柏市の新しい顔にふさわしい魅力あるまちづくりを進めます。

また、手賀沼等の豊かな自然が広がり、農業が盛んな地域もあります。その他、柏レイソル等のプロスポーツ、東京大学・千葉大学等の教育・研究機関等、市内には多くの地域資源が存在します。これら地域資源のもつ魅力をつなぎ、商業的なにぎわいと相乗効果により、交流人口の増加による市の活性化に取り組みます。

(2) 柏の良いイメージづくり

人口減少に伴う都市間競争が厳しさを増す中、人が行き交うだけでなく、定住人口増や消費行動につなげるには、まちの個性を確立し、柏を選ぶ行動に至るまでの戦略的な取組が必要です。この取組は、今ある資源のPRだけでなく、新たなまちの個性、魅力や強みを創り出し、本市のブランドイメージを向上させ、対外的な評価を高めます。

²² 【スマートシティ】 再生可能エネルギーの導入や先端技術を活用したエネルギー管理を行うなど、省エネルギーの視点から環境に配慮したまち。柏市では、併せて健康や新産業創造の分野にも取り組み、持続可能なまちの実現を目指している

図表22 柏市の機能的イメージ（資料）平成26年度柏シティプロモーションに係る基礎調査

	柏市民	市外居住者
1. 生鮮・食品など日用品の買いものが便利	81.9	72.1
2. 衣料・雑貨など買回り品の買いものが便利	77.0	56.1
3. 通勤・通学のアクセスが良い	66.9	51.7
4. 飲食店が充実	60.0	41.0
5. 自然が豊富	55.6	61.0
6. 医療機関が充実	52.7	46.0
7. ゴミのないきれいな街並み	42.3	42.2
8. 教育環境が充実	35.2	30.2
9. 子育てがしやすい	34.6	34.2
10. 治安が良い	33.5	46.8
11. 研究機関や学術機関が充実	31.5	20.4
12. 地価・家賃が手ごろ	30.2	45.5
13. 先進的な街づくり	30.0	23.3
14. スポーツ環境が充実	29.2	22.4
15. 街を挙げたイベントが多い	25.3	22.3
16. 高齢者が生活しやすい	22.1	29.9
17. 街並みのデザイン・センスが良い	11.9	21.9
18. 国際色豊か	8.7	18.5
19. 伝統的な街並みが残っている	7.6	19.0
20. 芸術文化の振興が盛ん	7.1	14.4
21. 観光名所が豊富	5.7	11.1

※とても満足、やや満足と回答した人の割合（単位：％）

図表23 柏市の情緒的イメージ（資料）平成26年度柏シティプロモーションに係る基礎調査

	柏市民	市外居住者
1. あかるい	53.7	37.1
2. 生活感がある	52.4	44.6
3. 活気がある	49.2	22.3
4. あたたかみがある	37.6	37.4
5. 落ち着いている	32.6	44.0
6. 開放的	32.2	27.2
7. 若々しい	28.7	17.4
8. 機能的	27.0	21.8
9. 家庭的	26.1	31.7
10. さわやか	20.3	22.8
11. 規律正しい	17.2	21.3
12. 先進的	16.1	15.0
13. 知性的	14.4	17.2
14. 品格がある	14.1	18.4
15. 刺激的	11.7	11.1
16. 個性的	11.5	14.5
17. 主張が感じられる	11.5	13.5
18. 伝統的	9.0	17.7

※とても満足、やや満足と回答した人の割合（単位：％）